

# 19. 山 梨 県



## 1 9 山梨県

### A. 医療提供体制の現状

山梨県の特徴は、(1) 全国平均を下回る急性期の医療資源、(2) 急性期医療の中北（甲府）への集中、(3) 豊富なポスト急性期の医療資源、である。

#### (1) 全国平均の医療資源レベル

全県を通しての人口当たりの総病床数の偏差値が 51、一般病床が 52、総医師数が 48（病院勤務医数 49、診療所医師 47）、総看護師数が 49、全身麻酔数 48 と、全国項目がほぼ全国平均レベルである。

#### (2) 急性期医療の甲府への集中

中北（甲府）に人口の 55%が集中しているが、年間 1,000 件以上の全身麻酔を行う施設は、中北に集中しているため、医師数の 66%、全身麻酔数の 76%、看護師数の 61%と、人口以上の割合で医療資源がこの地域に集中している。一方、峡南、富士・東部は、医師数、全身麻酔数、看護師数も偏差値が 40 前後であり、医療提供の少ない地域である。

#### (3) 豊富なポスト急性期の医療資源

峡東には石和（いさわ）を中心に複数のリハビリ病院があり、主に首都圏からのリハビリ患者を受け入れている。その結果、峡東地区の偏差値は、療法士 121、総病床数 63、回復期病床数 142、総医師数 45、全身麻酔数 41、看護師数 56 という特異な構成になっている。

### B. 人口動向と将来に向けた地域の医療福祉の整備の方向性

#### (中北)

中北（甲府）は、人口約 47 万人、面積 1,336/km<sup>2</sup>、人口密度は約 350 人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。中北には、山梨大学（600 床、全麻 3,000 件以上）があり、年間全身麻酔 2,000 件を超える山梨県立中央病院（救命救急）、1,000 件を超える市立甲府病院があり、山梨県の医療提供の中心として山梨県の他の 3 つの医療圏からの多くの患者を受け入れている。

この地域の総病床数の偏差値は 53（一般病床 54、療養病床 51、精神病床 51）、総医師数が 53（病院勤務医数 54、診療所医師 51）、総看護師数 52、全身麻酔数 55 と、人口当たりの病院勤務医数と看護師数の配置レベルがほぼ全国平均レベルであり、医学部のある地方の医療圏としては、低めのレベルにある。総高齢者ベッド数も偏差値 42 と低値である。

2010→40年の山梨県全体の総医療需要が1%増、0-64歳の医療需要が37%減、中北の総医療需要が10%増、0-64歳の医療需要が32%減を考えると、現在不足気味の急性期医療の提供能力が、人口減の影響により適正レベルに近づいていくことが予想される。また、中北の75歳以上の医療需要54%増加が予想され、山梨県全体も中北も総高齢者ベッド数が少ないので、高齢者施設の増強が必要であろう。また、急性期病床の一部を、後期高齢者に対応する病棟に転換することが望ましい。

#### (峡東)

峡東（山梨）は、人口約14万人、面積756/km<sup>2</sup>、人口密度は約190人/km<sup>2</sup>の過疎型二次医療圏である。峡東には、年間全身麻酔250件を超える笛吹中央病院がある。急性期医療は弱く、リハビリ施設が全国トップクラスである特異的な医療圏である。人口10万人当たりの回復期病床数が454床と全国平均の50.2床の9.0倍、人口10万人当たりの総療法士数が365人で、全国平均74.6人の4.9倍である。

総病床数の偏差値は63（一般病床62、療養病床62、精神病床56）、総医師数が45（病院勤務医数49、診療所医師39）、総看護師数56、全身麻酔数41であり、医療関係者の多くがリハビリに関わっていることから、急性期医療の多くは中北に強く依存している。

今後、首都圏の後期高齢者の激増によりリハビリのニーズは高まるので、この地域のリハビリ機能が、首都圏のリハビリ需要を支える状況が続く可能性は高い。また、地域内の医療機関の急性期対応能力の強化とネットワーク化を基本に、中北との連携の強化を図ることが望ましい。

#### (峡南)

峡南（市川三郷町）は、人口約6万人、面積1,060/km<sup>2</sup>、人口密度は約50人/km<sup>2</sup>の過疎型二次医療圏である。また、1,000 km<sup>2</sup>を超える大きな医療圏であり、人口密度も100人/km<sup>2</sup>以下であり、拠点病院までの移送が大変な地域を抱える医療圏である。峡南には、年間全身麻酔100件を超える社会保険鵜沢病院があるが、中北への医療の多くを依存している。

人口当たりの偏差値は、総病床数の偏差値は44（一般病床50、療養病床50、精神病床なし）、総医師数が40（病院勤務医数40、診療所医師41）、総看護師数41、全身麻酔数34と医療資源が非常に低いレベルである。は医療提供が手薄な地域であり、

2010→40年の峡南の総医療需要が27%減、0-64歳の医療需要が53%減、75歳以上の医療需要8%増を考えると、地域内の集約化とネットワーク化の強化を進め、中北からの支援と連携の強化を図ることが望ましい。

#### (富士・東部)

富士・東部（富士吉田）は、人口約19万人、面積1,309/km<sup>2</sup>、人口密度は約150人/km<sup>2</sup>の過疎型二次医療圏である。富士・東部には、年間全身麻酔500件を超える富士吉田市立病院、年間250件以上の山梨赤十字病院があるが、医療提供が手薄な地域であり、中北と峡東への医療の多くを依存している。

人口当たりの偏差値は、総病床数の偏差値は 42 (一般病床 41、療養病床 41、精神病床 51)、総医師数が 40 (病院勤務医数 38、診療所医師 46)、総看護師数 38、全身麻酔数 39 と医療資源が全般的に少ない。また診療所による医療の比率の高い地域である。

2010→40 年の富士・東部の総医療需要が 3%減、0-64 歳の医療需要が 43%減、75 歳以上の医療需要 40%増を考えると、地域内の集約化とネットワーク化の強化を進め、中北からの支援と連携の強化を図ることが望ましい。

表 19-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口	県内シェア	面積	県内シェア	人口密度	地域タイプ	高齢化率	2010→40年総人口増減率	2010→40年75歳以上人口増減率
全国	128,057,352		372,903		343.4		23%	-16%	58%
山梨県	863,075	41位	4,461	32位	193.5		25%	-23%	40%
中北	473,854	55%	1,336	30%	354.7	地方都市型	23%	-17%	54%
峡東	141,288	16%	756	17%	186.9	過疎型	26%	-27%	29%
峡南	58,137	7%	1,060	24%	54.9	過疎型	34%	-41%	-8%
富士・東部	189,796	22%	1,309	29%	145.0	過疎型	24%	-28%	40%
出典	<2010年人口>平成22年国勢調査人口等基本集計 総務省統計局 平成23年10月 <面積>都道府県・市区町村別主要統計表 総務省統計局 平成22年 <2040年人口>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月								

表 19-2 病院数、診療所施設数

二次医療圏	病院数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所施設数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,605		6.7	(4.0)	99,547		78	(19.4)
山梨県	60	0.7%	7.0	51	679	0.7%	79	50
中北	32	53%	6.8	50	413	61%	87	55
峡東	14	23%	9.9	58	77	11%	54	38
峡南	6	10%	10.3	59	50	7%	86	54
富士・東部	8	13%	4.2	44	139	20%	73	48
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

表 19-3 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,571,473		1,228	(474)	126,031		98	(106)
山梨県	11,201	0.7%	1,298	51	718	0.6%	83	49
中北	6,392	57%	1,349	53	485	68%	102	50
峡東	2,596	23%	1,837	63	92	13%	65	47
峡南	558	5%	960	44	28	4%	48	45
富士・東部	1,655	15%	872	42	113	16%	60	46
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月			

表 19-4 診療所施設数（全体、無床、有床）

二次医療圏	診療所 施設数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床診療 所施設数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床診療 所施設数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	99,547		78	(19.4)	89,613		70	(18.9)	9,934		7.76	(6.9)
山梨県	679	0.7%	79	50	619	0.7%	72	51	60	0.6%	7.0	49
中北	413	61%	87	55	372	60%	79	54	41	68%	8.7	51
峡東	77	11%	54	38	73	12%	52	40	4	7%	2.8	43
峡南	50	7%	86	54	47	8%	81	56	3	5%	5.2	46
富士・東部	139	20%	73	48	127	21%	67	48	12	20%	6.3	48
出典	平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

表 19-5 一般病床数、療養病床数、精神病床数

二次医療圏	一般 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	療養 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	精神 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	896,277		700	(226)	324,828		254	(196)	339,459		265	(206)
山梨県	6,429	0.7%	745	52	2,281	0.7%	264	51	2,431	0.7%	282	51
中北	3,713	58%	784	54	1,287	56%	272	51	1,354	56%	286	51
峡東	1,363	21%	965	62	688	30%	487	62	541	22%	383	56
峡南	404	6%	695	50	150	7%	258	50	0	0%	0	37
富士・東部	949	15%	500	41	156	7%	82	41	536	22%	282	51
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月			

表 19-6 救命救急センター数、がん診療拠点病院数、全身麻酔件数

二次医療圏	救命救急センター	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	がん診療拠点病院	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	204		1.59	(2.22)	377		2.95	(3.5)	2,577,228		2,013	(947)
山梨県	1	0.5%	1.2	48	3	0.8%	3.5	51	15,816	0.6%	1,833	48
中北	1	100%	2.1	52	3	100%	6.3	60	11,976	76%	2,527	55
峡東	0	0%	0	43	0	0%	0	42	1,680	11%	1,189	41
峡南	0	0%	0	43	0	0%	0	42	300	2%	516	34
富士・東部	0	0%	0	43	0	0%	0	42	1,860	12%	980	39
出典	平成24年10月 救急医学会				平成22年10月 独立行政法人国立がん研究センターがん対策情報センター				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

表 19-7 医師数（総数、病院勤務医数、診療所医師数）

二次医療圏	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院勤務医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	321,268		251	(87)	199,499		156	(63)	121,769		95	(31)
山梨県	2,028	0.6%	235	48	1,286	0.6%	149	49	743	0.6%	86	47
中北	1,333	66%	281	53	868	68%	183	54	465	63%	98	51
峡東	294	14%	208	45	210	16%	148	49	84	11%	60	39
峡南	93	5%	160	40	54	4%	92	40	39	5%	67	41
富士・東部	309	15%	163	40	154	12%	81	38	155	21%	81	46
出典	病院勤務医数と診療所医師数の合計				平成23年病院報告 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

表 19-8 看護師数（総数、病院看護師数、診療所看護師数）

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,039,059		812	(270)	858,317		671	(227)	180,742		141	(71)
山梨県	6,782	0.7%	786	49	5,524	0.6%	640	49	1,258	0.7%	146	51
中北	4,150	61%	876	52	3,307	60%	698	51	843	67%	178	55
峡東	1,377	20%	974	56	1,214	22%	859	58	162	13%	115	46
峡南	338	5%	581	41	270	5%	464	41	68	5%	116	46
富士・東部	918	14%	484	38	734	13%	387	37	184	15%	97	44
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成23年病院報告 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

ここでの「看護師」は「看護師」＋「准看護師」

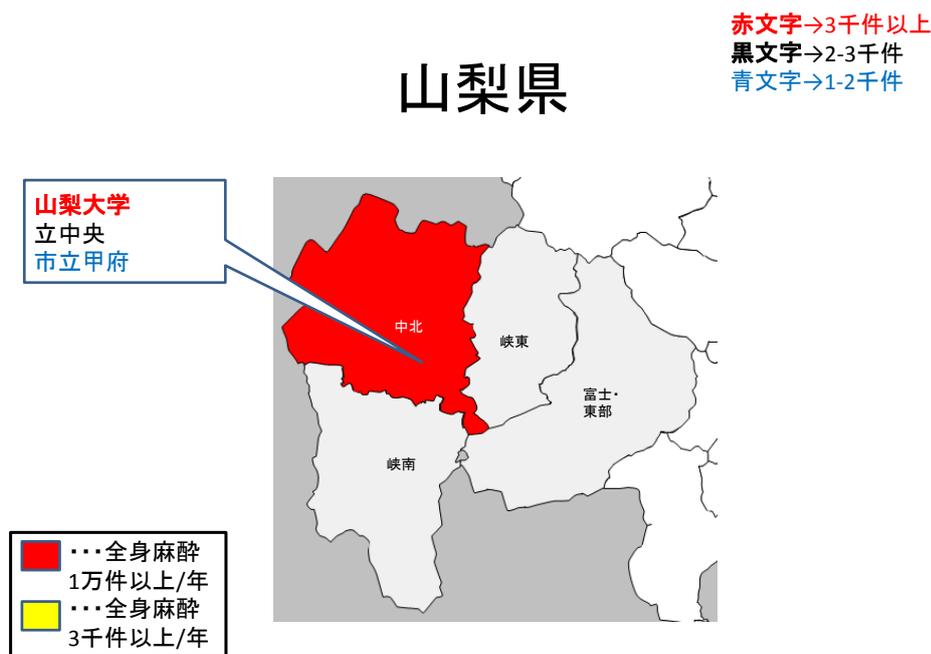
表 19-9 療法士数と回復期病床数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	95,471		74.6	(41)	63,959		49.9	(44)
山梨県	1,019	1.1%	118	61	893	1.4%	103	62
中北	420	41%	89	53	251	28%	53	51
峡東	516	51%	365	121	642	72%	454	142
峡南	26	3%	45	43	0	0%	0	39
富士・東部	56	6%	30	39	0	0%	0	39
出典	平成23年病院報告 厚生労働省 平成23年10月				平成25年3月全国回復期リハ病棟連絡協議会			

表 19-10 在宅医療施設（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション）

二次医療圏	在宅療養支援診療所				在宅療養支援病院				訪問看護ステーション			
	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1万人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1万人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1万人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,058		10.0	(5.4)	779		0.55	(0.6)	6,814		4.84	(1.5)
山梨県	53	0.4%	4.8	40	6	0.8%	0.5	50	46	0.7%	4.2	46
中北	31	58%	5.6	42	2	33%	0.4	47	24	52%	4.3	47
峡東	12	23%	6.1	43	2	33%	1.0	57	8	17%	4.1	45
峡南	0	0%	0	31	2	33%	1.7	69	7	15%	6.0	58
富士・東部	10	19%	4.2	39	0	0%	0	41	7	15%	3.0	38
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成24年12月			

図 19-1 医療圏別基幹病院別全身麻酔手術数



(平成23年医療施設調査(10月1か月分)の数値に12を掛けたもの)

表 19-11 総高齢者ベッド数、介護保険施設ベッド数、総高齢者住宅数

二次医療圏	総高齢者 ベッド数	全国	75歳以上	偏差値	介護保険 施設 ベッド数	全国	75歳以上	偏差値	総高齢者 住宅数	全国	75歳以上	偏差値
		シェア 県内 シェア	1,000人 当り	*全国は 標準偏差		シェア	1,000人 当り	*全国は 標準偏差		シェア	1,000人 当り	*全国は 標準偏差
全国	1,696,557		121	(23.2)	936,747		67	(12.5)	759,810		54	(20.5)
山梨県	10,961	0.6%	99	41	7,210	0.8%	65	49	3,751	0.5%	34	40
中北	5,708	52%	103	42	3,567	49%	64	48	2,141	57%	39	43
峡東	2,266	21%	115	48	1,343	19%	68	51	923	25%	47	46
峡南	1,136	10%	98	40	813	11%	70	53	323	9%	28	37
富士・東部	1,851	17%	79	32	1,487	21%	63	47	364	10%	15	31
出典	田村プランニング(平成25年1月データ) 介護保険施設ベッド数と総高齢者住宅数の合計				田村プランニング(平成25年1月データ) 老人保健施設(老健)収容数、特別養護老人ホーム(特養)収容数、介護療養病床数の合計				田村プランニング(平成25年1月データ) 有料老人ホーム、グループホーム、高齢者住宅、その他の合計			

表 19-12 老人保健施設(老健)収容数、特別養護老人ホーム(特養)収容数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健 施設(老健) 収容数	全国	75歳以上	偏差値	特別養護 老人ホーム (特養) 収容数	全国	75歳以上	偏差値	介護療養 病床数	全国	75歳以上	偏差値
		シェア 県内 シェア	1,000人 当り	*全国は 標準偏差		シェア	1,000人 当り	*全国は 標準偏差		シェア	1,000人 当り	*全国は 標準偏差
全国	350,538		25	(5.8)	501,495		36	(10.0)	84,714		6.0	(5.3)
山梨県	2,819	0.8%	26	51	4,168	0.8%	38	52	223	0.3%	2.0	42
中北	1,415	50%	26	51	1,988	48%	36	50	164	74%	3.0	44
峡東	510	18%	26	52	815	20%	41	56	18	8%	0.9	40
峡南	324	11%	28	55	489	12%	42	56	0	0%	0	39
富士・東部	570	20%	24	49	876	21%	37	52	41	18%	1.7	42
出典	田村プランニング(平成25年1月データ)				田村プランニング(平成25年1月データ)				田村プランニング(平成25年1月データ)			

表 19-13 有料老人ホーム、グループホーム、高齢者住宅

二次医療圏	有料老人 ホーム	全国	75歳以上	偏差値	グループ ホーム	全国	75歳以上	偏差値	高齢者 住宅	全国	75歳以上	偏差値
		シェア 県内 シェア	1,000人 当り	*全国は 標準偏差		シェア	1,000人 当り	*全国は 標準偏差		シェア	1,000人 当り	*全国は 標準偏差
全国	313,116		22.3	(16.7)	171,021		12.2	(5.9)	88,421		6.3	(4.0)
山梨県	753	0.2%	6.8	41	810	0.5%	7.3	42	629	0.7%	5.7	49
中北	364	48%	6.6	41	510	63%	9.2	45	428	68%	7.7	54
峡東	325	43%	16.5	47	141	17%	7.1	42	102	16%	5.2	47
峡南	0	0%	0	37	60	7%	5.2	38	28	4%	2.4	40
富士・東部	64	8%	2.7	38	99	12%	4.2	37	71	11%	3.0	42
出典	田村プランニング(平成25年1月データ)				田村プランニング(平成25年1月データ)				田村プランニング(平成25年1月データ)			

表 19-14 ～64歳人口、75歳以上人口の推計

二次医療圏	～64歳人口			2010年を100とした ～64歳人口			75歳以上人口			2010年を100とした 75歳以上人口		
	2020	2030	2040	2020	2030	2040	2020	2030	2040	2020	2030	2040
全国	88,023,301	79,833,026	69,345,059	89	81	70	18,778,797	22,774,034	22,232,154	133	162	158
山梨県	559,431	486,449	407,544	86	75	63	131,889	156,057	154,674	120	142	140
中北	323,028	288,946	246,554	89	79	68	69,935	85,075	85,461	126	154	154
峡東	87,209	74,398	60,525	84	71	58	22,946	26,586	25,522	116	135	129
峡南	29,667	23,201	18,061	77	60	47	11,350	11,660	10,699	98	100	92
富士・東部	119,527	99,904	82,404	83	69	57	27,658	32,736	32,992	117	139	140
出典	平成22年国勢調査人口等基本集計 総務省統計局 平成23年10月 日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月											

表 19-15 2010年→40年の医療・介護の需要予測

二次医療圏	地域タイプ	2010→40			
		総医療需要 増減率	64歳以下 医療需要 増減率	75歳以上 医療需要 増減率	総介護需要 増減率
全国		10%	-30%	58%	50%
山梨県		1%	-37%	40%	35%
中北	地方都市型	10%	-32%	54%	48%
峡東	過疎型	-5%	-42%	29%	25%
峡南	過疎型	-27%	-53%	-8%	-10%
富士・東部	過疎型	-3%	-43%	40%	34%
出典	平成22年国勢調査人口等基本集計 総務省統計局 平成23年10月 日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月 平成23年度 介護給付費実態調査報告 厚生労働省 平成22年度 国民医療費 厚生労働省				

※ここでの医療需要と介護需要の予測は費用ベースに年齢層別の人口増加を加味したものであり、人々の医療受療率、介護サービス受給率が2010年時点と変わらないことを前提に算出している。

図 19-2 山梨県 2010 年→40 年医療介護需要の増減予測

